

令和6年度 第2回 教育課程編成委員会 議事録

日 時 令和7年2月19日
会 場 専門学校 V. カレッジ 特別教室
出席者
外部委員 (株)大久保硝子店 代表取締役会長：大久保章宏氏
オーリンク(株) 代表取締役社長：佐藤一氏
東北電化工業株式会社人事企画部 リクルートセンター長：半澤和仁氏
(有)マックベース 代表取締役 森昭宏氏
(株)サンセットスタジオ 代表取締役 早坂実氏
(株)KOEI 執行役員 総務管理本部経理部部長：武田隆平氏
(株)加藤建築 代表取締役：加藤勇紀氏
本校委員 校長：山本絵里子 教頭：五十嵐浩
後藤清彦／堀川栄美子／江口優一朗

次 第<進行：五十嵐教頭>

1. 委員長挨拶：<校長>

ご多忙中、委員の方々に参集いただき御礼申し上げます。前回の教育課程編成委員会にて留学生だけでなく日本人学生の確保もしっかりしてもらいたいという意見をいただき、今回の委員会も含めて委員の皆様から頂いた意見をもとに来年・再来年に学生増加のための動きを行っていききたい。大きなところとしては新学科「サイバーシステム科」の学科設置が認められた。併修大学である開志創造大学の認可もあり今後また進展があった際には委員の皆様にお伝えしていききたい。

2. 報告事項：<五十嵐教頭>

※資料参照

(1) 令和6年度在籍者数

・25名在籍(日本人学生：21名 留学生：4名) 退学者3名

(2) 令和7年度入学生募集状況

※資料参照

入学予定者

- ・AI情報システム科 日本人学生：3名 留学生：3名
- ・ICTクリエイト科 日本人学生：3名
- ・ファッションプロモート科 0名
- ・医薬事務企業会計科 日本人学生：1名
- ・建築科 0名
- ・医療事務科 1名
- ・公務員科 1名

(3) 令和6年度教育活動実施状況

※資料参照

3. 協議

議長 大久保委員

(1) 令和6年度カリキュラム実施状況

① AI・情報システム科 全体説明 江口委員

在籍者数 1年 日本人学生1名 留学生4名 2年 日本人学生5名

科目名を一新する予定。IT パスポートの試験範囲となる知識の授業を前期に持つてくることで、早い段階での合格を目指す。後期も引き続き同様の内容の授業を設けているが、前期の時点で IT パスポートが合格できた場合、後期は基本情報技術者試験の合格を目指す。IT 活用実習について来年度は前期のみとし、後期は ExcelVBA をおこなう。AI 演習については機械学習に重点を置いた授業内容とする。

② ICT クリエイト科 全体説明 後藤委員

在籍者数 1年 日本人学生2名 2年 日本人学生 2名

昨年度に引き続き、今年度も PBL 型授業を実践した。様々な企業から依頼を受けて作品を作り 2 年生の内 1 名が作成した作品が企業より採用され、報酬を得た。具体的な取り組み事例として、信用金庫より依頼を受け竹田和裁研究所の EC サイトを ICT の学生全体で作成した。※資料参照

数年前から入学前学習として入学予定者にアドビソフトを無料で使用できるようにし、学習してもらう取り組みを行っている。今年度入学した学生の内 1 年生の時点で目標検定に合格したものがおり、入学前学習の効果が出ていると感じる。加えて早期出願者の特典として Udemy の入学前アカウント付与を検討している。今年度より生成 AI の授業を取り入れ前期は chatGPT を用いたビジネス文書の作成、後期は画像生成を学ばせている。オープンキャンパスのメニューとしても生成 AI を取り入れており、体験した高校生からは好評である。科目名の見直しも行った。科目名を見たときにどういった勉強をするのかイメージが付きやすい名前としている。

③ 建築科 全体説明 五十嵐委員

在籍者数 1年 日本人学生2名 2年 0名

カリキュラムについては今年度と同様の内容を考えている。現在在籍している 2 名の学生について、だいたい建築に対する理解、気づきが深まっていると感じる。協力企業様のおかげもあり就職活動も早めに動くことができています。

・工業課程に対する質問

半澤委員 令和6年度卒業予定学生14名の就職状況はどうなっているか。

五十嵐委員 13名の就職が決まっている。

半澤委員 県内就職の学生が多いのか。

- 五十嵐委員 2 名が県外、11 名が県内である。
- 半澤委員 専門学校としてはどういったスキルを身につけたか、どこに就職したかが学校としての一つの成果物となる。わかりやすい資料を用意してもらいたい。
- 五十嵐委員 今後資料を用意するようにする。
- 半澤委員 建築科への出願が現状ゼロというのが非常に残念である。原因を様々な視点から掘り下げて突き止めていかないと学生は集まらないと思う。
- 早坂委員 AI・情報システム科の卒業制作では学生がどのようなものを制作しているのか。
- 江口委員 ほとんどの学生は html 言語を用いたオリジナルの Web ページの制作だが一人ウィルス対策ソフトを作った学生がいた。ウィルスに見立てたデータを PC 内に忍ばせソフトがそれを見つけたときに削除を行うという仕組みである。近年あまり見ない制作物だったため非常に面白いものができたと思う。
- 早坂委員 ICT クリエイト科ではどのようなものを制作したか。
- 後藤委員 先ほど説明した EC サイトを卒業制作とした学生が 1 名。もう 1 名ジオラマ制作のためのツールボックスを制作した。制作して終わりではなく、授業で作成した自身の Web サイトで公開するところまで行っている。
- 早坂委員 情報発信の手段がテレビがメインの時代から現在は大きく変わってきている。多様な手段を使いこなし優秀な人材を育て上げていただきたい。
- 半澤委員 卒業制作として制作したもの、授業の成果物を発表する場を設けているか。
- 山本委員 2 月 22 日に惺山高校文化部と協力し、展示会を行う。
- 半澤委員 広報の観点からみてもそういったことは積極的に取り組むべきだと思う。
- 大久保委員 学生を集めるためには学生の制作物を展示する場を多く設け外部に知ってもらうことが必要だ。

④ ファッションプロモート科 全体説明 堀川委員

在籍者数 1 年 日本人学生 2 名 2 年 日本人学生 2 名

反省点として、技能五輪に学生を出場させることができなかったこと・目標検定が取得できなかったことがあげられる。

評価点として、在籍学生の内、高校でファッションを学んできた学生がいたが、専門学校に入学してさらにレベルの高い世界を体感したようであった。学生本人としては専門学校に入学してよかったと感じている様子だった。

⑤ 医薬事務・企業会計科 全体説明 五十嵐委員

在籍者数 1年 0名 2年 0名

以前のカリキュラムのコンセプトとしては、財務諸表が読める・電卓を用いた計算ができる・レセプトが書ける・読めるといったところをゴールとした授業内容としていた。しかし現在の高校生にたいしてそのコンセプトでは魅力を感じてもらうことは難しい。そこで来年度は読み書きに IT をプラスするコンセプトでいく。2年生のカリキュラムに IT 関係や AI 関係の授業を盛り込んでいる。

⑥ サイバーシステム科（4年制） 全体説明 江口委員

在籍者数 来年度より学科開設のため在籍者なし

本校 V.カレッジのサイバーシステム科（4年間）と開志創造大学を同時併修する学科である。卒業することでスムーズにいけば最短4年で高度専門士と学士を取得することができる。

4. その他

特になし

配布資料

① 教育課程編成委員会名簿

② 2024年度カリキュラム